

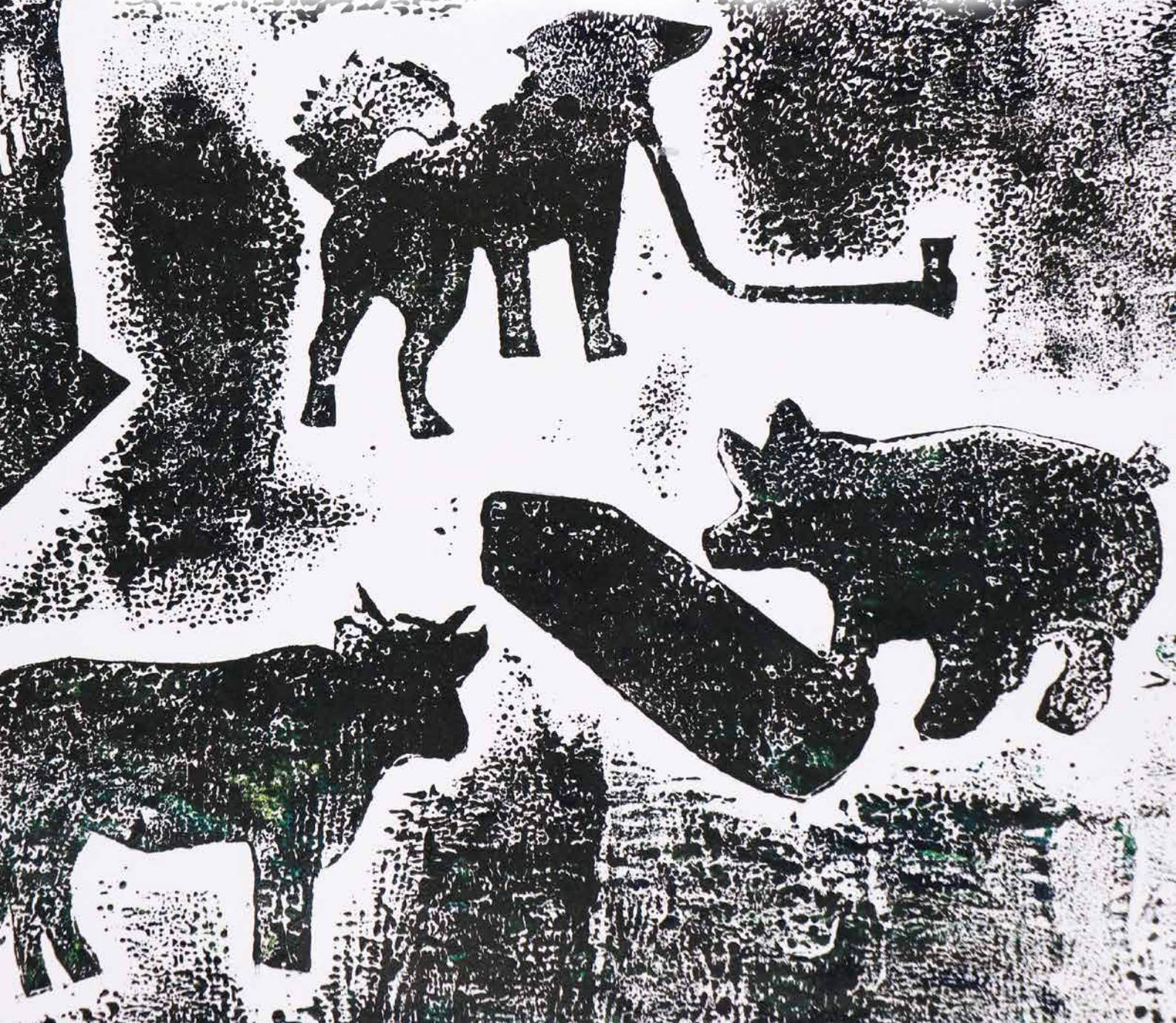


みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.72

令和6年(2024年)
2月1日発行

はまだ 議会だより



12月定例会議



今回はこれがポイント！

市内の県立高校に進学する生徒の住まいを確保

12月定例会議では、市長提出議案34件、議会提出議案1件について審議しました。

浜田市石州和紙会館条例の一部を改正する条例および浜田市国民宿舎千畳苑条例の一部を改正する条例は、昨今の原材料費や光熱水費の高騰で、各料金の上限額の改定が提案されました。また、指定管理者指定議案として、浜田市天狗石農村公園他2カ所の提案がありました。

令和5年度浜田市一般会計補正予算（第5号）については、国の物価高騰対策を受けて支給する住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金に係る経費であり、年内支給に向け開会日に委員会審査を経て全会一致で可決しました。

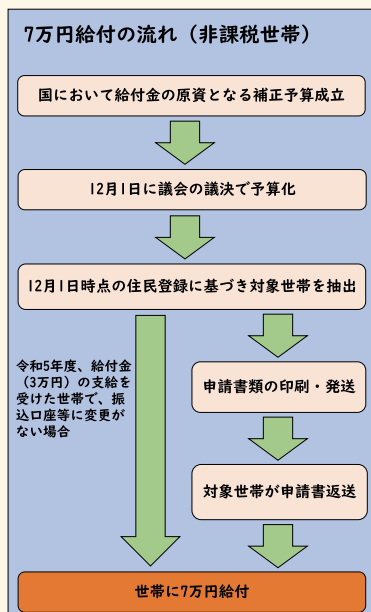
令和5年度浜田市一般会計補正予算（第6号）では、特殊詐欺撃退機器の配布に係る事業費、旧すくすく跡地公園整備として公園環境整備対策事業費、そして、県立高校共同寄宿舍の運営に係る事業費等が計上されました。

各委員会や本会議で慎重に審議した結果、12月定例会議に提出された全ての議案を可決しました。

トピックス

住民税非課税世帯等へプッシュ型で臨時特別給付金を令和5年中に給付

国の低所得者向け7万円給付の原資となる令和5年度補正予算が成立し、浜田市においては、12月1日に予算決算委員会を開催し、審査しました。特に負担感が大きい低所得世帯に対し、臨時特別給付金を支給するもので、対象者は基準日において、世帯全員が令和5年度分の住民税均等割が非課税の世帯、家計急変で収入が令和5年度住民税均等割非課税水準以下に下がった世帯に支給されます。住民税均等割が課税されている者の扶養親族などのみで構成される世帯は除きます。令和5年度、給付金（3万円）の支給を受けた世帯については、申請の必要はなく、支給のお知らせが届き給付が完了します。



- 問** 支給の目的は何ですか？
- 答** エネルギー・食料品価格など物価が高騰する中で、特に負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図るため、臨時特別交付金を支給するものです。
- 問** 直近で3万円の給付が出ていますが、支給の背景にはどんなことがありますか？
- 答** 世界的にエネルギー・食料品価格などが高騰する中で、国などが「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を進めます。
- 問** 住民非課税世帯給付金は、いつ支給されますか？
- 答** これまで同対象世帯へ4回の給付実績があり、その経験を踏まえて、令和5年中的給付を目標に進めます。
- 問** 交付金の「低所得世帯支援枠」を追加的に拡大したものです。
- 答** どのような成果が期待できますか。
- 答** 経済的負担が多い低所得世帯に対して、給付金を支給することで、生活の安定が図られます。

市内県立高校3校 共同寄宿舎整備で教育力の維持を

市内の県立高校では、少子化などの影響で定員割れが続き、このままではさらなる学級数の減少や学校統合なども危惧されています。一方で、市外や県外からの入学希望があっても宿舍の不足などによって受け入れできない現状にあります。島根県は、県外者などのためには新たな寄宿舎の整備は行わない方針であることから、やむを得ず市で民間施設を借り上げて市内3高校への入学希望のある生徒の住まいを確保することにより、市内県立高校生徒数を確保することがねらいです。このことにより、市内県立高校の教育力が低下しないように教育力の維持を目指します。

問 どこに設置する計画ですか？

答 市内高佐町の旧山陰合同銀行高佐寮（鉄筋3階建）を借り上げて使用する予定です。

問 高佐寮に決定した理由は何ですか？

答 プレハブ建築や県職員宿舎などの4案を検討しました。寮の定員想定が32人と最多で耐震基準も満たし、浜田高校に近接しており同校寄宿舎からの給食提供が容易であり、整備費が不要で令和6年4月から運用できるなどの理由です。

問 寄宿舎の整備内容はどうなるのでしょうか？

答 2人部屋が16室、舎監室1室、食堂・談話スペース1室です。運営などの予算規模は？

問 令和5年度は防犯カメラなどの備品などに約370万円、令和6年度から施設借上料、給食費、舎監費などに約3,600万円の支出で、収入は県補助金400万円、寮費約1,300万円の見込みです。収支の差額分が市の教育費全体に影響することはありますか？

答 ふるさと応援基金の充当なので影響はありません。



共同寄宿舎予定施設



議案等の 賛否の公開

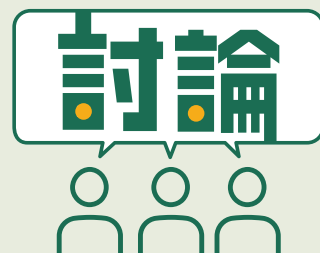
12月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や反対理由、討論、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和5年12月 ● 定例会議 ● 市長提出議案34件 議会提出議案1件 陳情14件

議案番号	議案名等	賛成	反対
議案第77号	令和5年度浜田市一般会計補正予算（第6号）	19	1 川上



議案第77号
令和5年度浜田市一般会計補正予算（第6号）
反対
川上 幾雄



討論とは、会議終了日の表決前に、議案などへの賛成・反対意見を表明することです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

20人が
個人一般
質問



こちらから動画をご覧ください。



すべての人に健康と福祉を

福祉のまち・浜田の実現のため

・石見神楽振興の当面の課題
(その他の質問項目)

進めていきたい。
その他の質問項目
・石見神楽振興の当面の課題

策は喫緊の課題である。今後の取組方針は。

進んでいる。福祉人材育成・確保対策は喫緊の課題である。今後の取組方針は。

う評価するか。農業と福祉の双方の課題解決とメリットがある取組であり、福祉部門と農業部門相互に協力し推進していきたい。



川神 裕司

学校給食はミネラル豊富な天然塩の使用を

ーや栄養教諭と検討する。実施については各センター、年間約9万2千円。

合、年間約9万2千円。

健康度を重視するのなら給食は全てミネラル豊富な天然塩にすべきでは？

機能低下し乾燥肌、ひいてはアトピー性皮膚炎になりやすいとのこと。

いしさが増す。ミネラルであるマグネシウムが皮膚の細胞内で低下すると、皮膚の細胞の代謝が低下し皮膚が薄くなりバリア機能が低下し乾燥肌、ひいてはアトピー性皮膚炎になりやすいとのこと。

天然塩は約5千円である。

る塩の年間購入金額は？

どで一部使用している。

使用状況は？



大谷 学

指定訪問入浴サービスの存続を！

・認知症施策の推進(その他の質問項目)

成がでないか？

い検討している。

手立てを浜田市で考えられないか？

心して住むためには、このサービスを継続できる

で、終末期に最後の入浴にも対応できる。現在の利用者やケアマネジャーも強く継続を望んでいる。安心して住むためには、このサービスを継続できる

れた自宅安心して入浴できる唯一のサービスで、終末期に最後の入浴にも対応できる。現在の利用者やケアマネジャーも強く継続を望んでいる。安心して住むためには、このサービスを継続できる

とが困難な方でも住み慣れた自宅安心して入浴できる唯一のサービスで、終末期に最後の入浴にも対応できる。現在の利用者やケアマネジャーも強く継続を望んでいる。安心して住むためには、このサービスを継続できる

る指定訪問入浴事業を令和6年3月末で廃止されると聞いた。訪問入浴はデイサービスにも行くことが困難な方でも住み慣れた自宅安心して入浴できる唯一のサービスで、終末期に最後の入浴にも対応できる。現在の利用者やケアマネジャーも強く継続を望んでいる。安心して住むためには、このサービスを継続できる



村武 まゆみ

質の高い教育をみんなに

高校の魅力化と学校の働き方改革を進めよ



芦谷 英夫

- Q** 他市町村のように浜田市は県外からの入学生をどう増やすのか。
- A** 寄宿舎を設置し地元以外の生徒を増やし、定員の確保、教育力の向上、定住につなげたい。
- Q** 過労死ラインとされる月80時間以上の残業はないか。校務支援システム稼働後、残業は削減されるか。
- A** 月80時間以上の残業の教職員は2割ほどあり、システム導入は確実に残業の削減につながる。
- Q** 部活動の地域移行のため市体育協会、各競技団体の強化が必要ではないか。
- A** 地域移行に伴い地域、競技、文化芸術などの団体に協力の相談をしたい。体育協会への人材派遣を検討している。

高齢者が対象のスマホ講習会の実施状況は



布施 賢司

- Q** 身近な人から（シニアネットはまだ会員）身近な場所（まちづくりセンター）で開催されたスマホ講座の受講人数と男女の割合、受講理由は。
- A** 全体で124人、男性が43人（34・7％）、女性は81人（65・3％）。理由は「自身のスマホを使いこなしたい」が全体の69％であった。
- Q** 評価と課題は。
- A** 実施自体は評価できる。課題はスマホの機種が多様で操作方法が異なり、各受講者の習熟度に差が出る。また「タッチ操作ができない」などつまずきやすい点を解消することが必要。
- Q** 今後の対応と取組は。
- A** 講座は継続、気軽に相談できる人や場がある仕組みづくりを検討する。

国の動向に沿う不登校対策推進を



佐々木 豊治

- Q** 不登校児童生徒が急増する中、文科省が3月に発表した「COOLOプラン」では、誰一人取り残さない学びの保証を実現するとさまざまな取組が示された。特にフリースクールなどの居場所の設置や「保護者の会」の設置などは急ぐべき取組と思うが、対応は。
- A** 校内フリースクールの設置については検討を進めており、予算が確保できれば来年度試行的に始めたい。「保護者の会」は教育委員会での設置は考えていないが、情報交換の場としての「保護者の集い」の開催を関係者と協議していきたい。
- （その他の質問項目）**
- ・ひきこり対策モデルの町「藤里町」の取組事例から

教育費の確保・拡充を！！



三浦 大紀

- Q** 市内県立高校の寄宿舎（男子寮）を市が整備することになった経緯は。
- A** 県外学生の住まいの確保について課題があると、浜田高校から相談があった。県に整備の意向がなく市で支援すべきと考えた。
- Q** 女子寮も合わせて検討すべきではないか。
- A** 浜田高校の女子寮に余裕がある。他校生徒の受け入れ可否は協議中。
- Q** 試算された市費負担は年1,850万円と大きい。
- A** 小中学校の学習環境改善などの支援充実も必要なか中、この事業実施で、他教育関係予算へ負の影響があつてはならない。
- A** ふるさと応援基金を充て、当該事業を理由に他教育関係予算を削減しない。県に補助増額を求める。



ジェンダー平等を実現しよう

生理休暇を取りやすい環境整備を

Q 任意団体が実施したアンケート結果によると、生理で学校を休みたいと思ったことがある小中高校生が9割。成績や内申に影響が出ると思い、休むのを我慢した人が68%であった。また、働く女性の健康を守るため、生理休暇制度があるが取得率は1%に満たない状況である。休める環境づくりの働き掛けを。

A 学校においては「欠席の記録」が直接の合否判定の資料とはしないと明記されている。生徒・保護者が不安を感じないよう働き掛ける。働く女性の生理休暇の取得率が低いと承知している。今後、女性が働きやすい職場環境を整え、就労者の確保を目指す意味でも事業者への周知に努める。



柳楽 真智子



働きがいも経済成長も

インバウンド推進に協働で地域資源の活用を

Q Gアドベンチャーズが実施する石州和紙会館などでの創作体験ツアーを継続して受け入れるための課題は。

A 駅からの移動手段の確保と紙すき体験後、次の列車まで約2時間の空き時間の有効活用が課題。

Q ひやこるバスの活用は。

A Gアドベンチャーズの利用は土曜日が多く、運行は朝、夕のみで利用は難しいが、協議はできる。

Q 座禅体験ができる龍雲寺や大麻山、石州和紙の関連では神楽面工房や蛇胴、神楽衣装工房など観光資源があり、市でマイクロバスを出すなどの支援はできないか。

A 民間旅行事業者の主催ツアーに市がマイクロバスや費用負担をすることは難しい。意見交換する。



西田 清久

浜田市の人口減少 今後の対策は

Q 浜田市の人口推計では令和7年に51,379人と予測されているが、令和5年8月末に5万人割れに至った。急激な人口減少の見解は。

A 令和5年9月末の時点で、当市の住民基本台帳では人口5万人を割り、49,907人となり人口減少は避けられない深刻な問題と認識している。

Q 人口減少の対策は。

A 対策として、産業振興や企業誘致による働く場の確保、住まいの確保、子育て支援などに取組んだ。本市の人口減少問題の取組では、特に生産年齢人口の確保が重要で、今年度から「若者支援ファンド事業」の実施と併せ、「若者が暮らしたいまちづくり事業」で人口減少対策に取組んでいる。



永見 利久



産業と技術革新の基盤をつくろう

有機農業指導員が鍵

Q 環境に負担を掛けない有機農業の普及は、有機農業指導員が鍵とを感じるが市の考えは。

A 有機農業指導員とは、有機JAS制度や栽培技術などについて指導・助言を行う者で今後、有機指導者の確保、育成をする。また、有機農業の産地づくりを進めるため、島根県初のオーガニックビレッジ宣言をした。

Q オーガニックビレッジ宣言の目標や取組の内容は。

A 有機JAS認証面積を48畓から65畓に、有機JAS認証習得者数を14人から20人に拡大する。有機給食の実施や食育の推進、粉殻燐炭などバイオ炭を活用した資源循環モデルの構築など実現に向けて取組んでいる。



串崎 利行

住み続けられるまちづくりを

舗装修繕は将来どこまでできる？

- Q** 浜田市には約1,800歳の道路（市道・農道・林道）が存在する。この道路の舗装修繕にはどの程度の費用が必要か検討しているのか。
- A** 平成27年に策定した「浜田市公共施設等総合管理計画」の中で舗装修繕に関する試算をしており、将来の更新投資額として年平均27億円となる。
- Q** 「公共施設再配置実施計画」の長期財政試算によると更新投資可能額は年19・1億円であり、再配置計画も実施できず財政破綻を危惧する。
- A** 19・1億円はハコモノに関する再配置に係る年投資可能額ととらえており、道路というのかインフラ整備というのは別に考えていただきたい。



川上 幾雄

防災・減災「次期防災情報システム」を整備

- Q** 戸別受信機について、現在の設備と次期システムとの設備の違いは？
- A** 電波がアナログ波からデジタル波に変わるものの、現在の戸別受信機の機能を引き継ぐ。また、電波が届かない所は、石見ケーブルビジョンの光回線を利用したFM告知端末（戸別受信機と同等機能）を設置する。
- Q** 屋外拡声子局は基本的に現在の場所を更新するとの方針であるが、公園などに新たに設置するべきではないか。
- A** 津波災害警戒区域や災害時の円滑な避難誘導に有効な場所など、防災上優先度の高い場所への設置を検討する。
- （その他の質問項目）
- ・「アプリ」のプッシュ性
 - ・ホームページの強靱化



村木 勝也

増え続ける空き家に向かうのか？

- Q** 増え続ける空き家は大きな問題である。空き家バンク登録の状況と定住につながった実績と課題は？
- A** 529件の登録物件数のうち462件が入居し、146件のU・イターンにつながっている。増え続ける予想から、空き家の放置によつて劣化が進み登録できない状況になることが課題である。
- Q** 古民家などさまざまな活用についての要望がある。官民協働して一つでもなくすため空き家対策の助成金の枠の拡大・拡充と、各課が持つ建物や空き地情報を一元化して横断的に運用する仕組みを図るべきではないか？
- A** 各課の状況を把握して一元管理する方策について検討をする。



岡本 正友

上水道の未整備地域への対応は

- Q** 水道施設の未整備地域は、浜田地域、金城地域、旭地域、弥栄地域、三隅地域にどのくらいあるか？
- A** 浜田地域6世帯・13人、金城地域43世帯・85人、旭地域24世帯・40人、弥栄地域63世帯・96人、三隅地域365世帯・652人、合計501世帯・886人である。
- Q** 未整備地域に対する今後の取組は？
- A** 新規に拡張整備をする予定はない。中山間地域では、配水池やポンプ施設の配置も必要になり多額の費用が掛かる。将来にわたって、安定的な収入の確保も難しい。今後については、未整備地域に対して、飲料用井戸などの設置、更新などに対して支援を行っていく。



田畑 敬二

住み続けられるまちづくりを

住み慣れた地域で安心して生活できるように

- Q** 全国でクマによる被害が相次いでいる。浜田市は状況は。
- A** 当市においてクマと遭遇して負傷する事案が発生した。これまで多くの目撃情報が寄せられており、えさの凶作により人里に出ると考える。
- Q** 今後ますます増えると思うが対応は。
- A** 放任果樹撤去など、住民の安心、安全を第一にクマ対策に取り組む。
- Q** 高齢化が進み、自分で耕作できない。条件が良くないと耕作を頼めない。浜田市の圃場整備の進捗状況は。
- A** 30年以上前の事業完了が多く、老朽化が進んでいる。今年度上府地区で20畝完了し、杵束地区着工、令和6年度安城地区で開始される。



上野 茂

若者が住みやすいまちづくりを!

- Q** 若者にとって住みやすい住み続けたいまちをどのように考え施策に反映させているのか?
- A** 若者向けの施設や医療機関、レジャー・文化施設子育て支援や就労支援が整備されているなどが考えられ、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で①産業振興と企業立地による雇用の創出②子どもを安心して産み育てる環境づくり③U・イターンや定住の促進・ふるさと教育の推進④地域の特性を活かした安心して暮らせる浜田づくりといった四つの目標に対し、具体的な目標数値を設定し、毎年進捗管理を実施している。また地元の若者への支援として今年度から若者支援ファンド事業に取り組んでいる。



肥後 孝俊

人口減少社会における地縁組織の在り方とは

- Q** まちづくり推進委員会の設置率を90%としている理由は?
- A** 活力あるコミュニティを形成するために組織化は必要と考えている。本来、設置率100%とすべきだが負担感があり設置が難しい地域もあるもので90%としている。
- Q** 自治会などまちづくり推進委員会との棲み分け、まちづくり推進委員会に期待する役割は?
- A** 自治会、町内会は日常生活に身近な活動を担い、まちづくり推進委員会は自治会などだけでは対応できない地域課題の解決や地域の活性化を図るためと考え、地域で活動している団体で構成され地域の特色や個性を生かしたまちづくりを行うことに期待している。



沖田 真治

マニフェスト大賞受賞で変わるふるさと納税

- Q** 令和5年度の首長部門マニフェスト大賞優秀賞にお祝い申し上げる。市長のトップセールスに弾みがつくのでは。
- A** 全国を歩きながら併せてふるさと納税をお願いしている。さらに上積みも期待している。
- Q** 今年度から受託会社が変わり、その上、中国が水産品の輸入を禁止している。7割を水産品が占めているが大丈夫か。
- A** 水産品の寄附額は前年比137%と増え、寄附の使い道も農林水産業支援が前年比147%増で、全国的に水産業を応援する方向である。
- Q** 寄附額の前年比は。
- A** 受託会社の指導で寄附件数が前年比110%、寄附金額は前年比129%増である。



牛尾 昭

陸の豊かさを守ろう

オーガニック給食拡充に向けた供給体制を！



小川 稔宏

Q 有機野菜の産地化が進む石見地方において物流問題などが懸念されるなか、冷凍野菜加工工場が地元には必要ではないか。

A 市では冷凍カット野菜の取組を進めている。有機野菜の生産拡大に併せて、加工体制も必要となるため市内での冷凍工場の整備について関係機関と共に検討したい。

Q 学校給食を有機米、有機野菜の販路の一つと位置付け、供給できるための生産体制を整えるという考えはないか。

A 生産拡大には販路確保も必要。学校給食は地元での消費拡大と販路拡大の両面で効果がある。企業連携で生産体制を強化し、学校給食への供給体制構築を教育委員会や生産者と共に検討したい。

ぎかいポストに寄せられた意見へ回答



▶ ご意見

三隅地域の史跡にある緑の看板が全て知りたいです。パンフレットなどで、全ての看板の一覧が見たいです。

▶ 対応経過及び結果

市内各地域の史跡等が大切にされ、市全体においても認知されることは重要であると考えており、郷土の歴史について理解と啓発が進むよう取組んでまいります。
(総務文教委員会)

▶ ご意見

- ・減税。古い規制は撤廃してください。
- ・市民税（地方税）も下げてください。

現状、消費税10%で、8%の軽減税率もありますが、物価上昇により生活が苦しい状況です。減税が必要です。古い規制は廃止して減税してください。また、大企業と高額所得者は税金が少ない状態です。これに対しては、税率アップが必要と考えます。法人税アップが必要です。

▶ 対応経過及び結果

賃金水準が伸び悩む近年の日本国内の状況において、税負担が厳しいというお声は他からも伺っております。引き続き、暮らしやすさを意識して、予算や各事業の審査を行ってまいります。
(福祉環境委員会)

▶ ご意見

ケーブルテレビで議会を拝見していますが、議員の中で居眠りをしている方がいます。

▶ 対応経過及び結果

ご指摘につきましては、真摯に受け止め、全議員が住民代表としての自覚をいま一度持ち、今後そういった疑義が生じない行動に努めてまいります。
(議会運営委員会)

各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。





第3回はまだ市民一日議会 実施報告



令和5年10月22日に第3回はまだ市民一日議会を開催しました。3回目の開催となり、第2回と同様に若い方からの応募が多く、応募者の約60%が小学生から大学生までの学生でした。若い方が意見を述べることのできる場として、有効な取組であると再認識したところです。

日頃浜田市に住んでいて感じること、より良くなってほしいということなど浜田への思いが溢れていました。どの参加者もしっかりと事前準備をされ、伝えたい思いを堂々と発言されたことが印象的でした。

ご提案やご意見については、3常任委員会や議員連盟で協議しました。また、このたび頂いたご提案やご意見については、今後の議会においてさまざまな形で活用させていただきます。

実施後のアンケート結果として、発言者のほとんどのの方が「知人に勧めたい」「自分がもう一度出たい」とあり、傍聴者からは、「次の機会があれば自分が発言したい」「また聴きにきたい」とありました。当日会場にお越しいただけなかった方もYouTubeで動画を見ていただければ幸いです。

今後も開催継続に向けて、皆さんに議会をより身近に感じていただけるような取組に努めていきます。

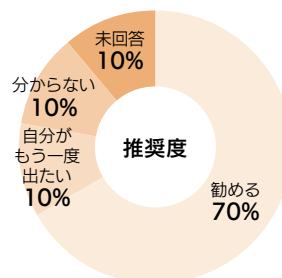
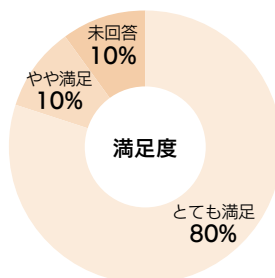
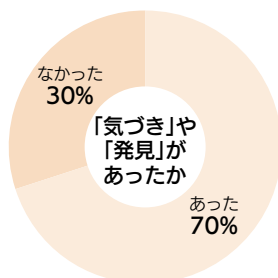
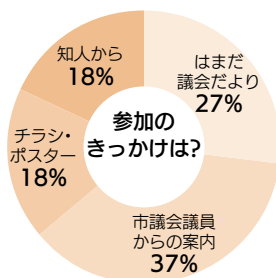
発表者をはじめ、運営にご協力いただいた関係者の皆さんに紙面を借りてお礼申し上げます。



当日の動画は
こちらから



発言者からの声



さまざまなご提案ありがとうございました

合併処理施設
維持管理に関する
協定書の修繕費
等の見直しを。

ふくろじりたかし
袋尻 孝さん

福祉環境

地域内で議論を深め、なお状況改善を望まれるなら県・市への再協議とその必要性を要望してほしい。

全国高校生
神楽大会の実施と
外国人に向けた
石見神楽の
発信の充実を。

ささき かずま
佐々木 一真さん

浜田市議会石見神楽振興議員連盟

関係者と一丸となり情報発信に努める。

サザエなどが採れる
漁師証を発行し、
子どもたちに海と
触れ合う体験の
推進を。

えんどう ひろゆき
遠藤 祐之さん

産業建設

できるだけ子どもたちに自然の海を体験してもらうよう働き掛ける。

まちなか交流
プラザなどを利用し、
大学生を含めた
交流の場を。

みうら かける
三浦 走さん

総務文教

浜田市まちなか交流プラザの有効活用、交流の機会が増え浜田市が活性化するよう後押ししていく。

子どもが大学生や高校生と活動
する場や地域の人たちが楽しく
集まれる場がほしい。給食をバ
イキングに、牛乳を選択性に。

しまだ れな
島田 怜奈さん
こばやし のぞみ
小林 希実さん みやた ゆき
宮田 優希さん

総務文教

交流の機会が増えるよう努めていく。学校給食については調査研究する。

竹迫児童公園に
時計を設置し、
駐車場も
しっかりと管理
してほしい。

みうら めい
三浦 萌衣さん

産業建設

安心して遊ぶことのできる場所を整備するために、担当部署に要請していく。

地域の特徴を
活かした、
自然・石見神楽・
石州和紙の
体験ができる
イベントを
増やしてほしい。

たなか そうま
田中 聡真さん

産業建設

さまざまな手法での情報発信や魅力あるイベント、市県外から来てもらえるようなイベントが展開されるよう要望する。

浜田郷土資料館
の建替えをし、
たくさんある
資料の收藏
スペースの
確保を。

くしもと やまと
櫛本 和さん

総務文教

頂いた意見やアンケートの結果を踏まえ、整備計画について議論を重ねていく。

浜田港を中心とした
水素など
新エネルギー創出の
検討推進を。

ありの ゆうと
有野 夢叶さん

福祉環境

提案を前向きに受け止め推進していくために調査研究していく。

産業建設

国のモデル事業等も含め調査研究していく。

市民対談

浜田市議会は協働のまちづくり推進特別委員会を設置し、まちづくりの活性化について協議を重ねています。今回は「協働」という視点から「三隅氏発祥800年の会」の取組を伺いました。

(インタビュアー：村木 勝也)

三隅氏発祥800年の活動こそが協働 未来へつなごう 郷土の誇り

三隅氏発祥800年の会 会長 丸山 義尚さん

副会長 田城 謙二郎さん

副会長 浜崎 聖二さん

歴史をきっかけに気運上昇の のろしを上げた

——活動に至るきっかけは何ですか。

浜崎 きっかけは、ある歴史史料の発見です。新出周布家文書という史料

の一部です。ここに「貞応2年6月20日、三隅兼信が鎌倉將軍頼朝から北条義時を通じて領地を治めることを認められた。」



とあります。西暦に直すと1223年になり、そこから数えると、2023年がちょうど800年の年になるじゃないか！何かせんと！という気持ちで始まったのが、この800年の取組です。

——この一年どのような活動をされましたか

田城 まず、2022年9月1日に、設立総会を行い、翌年1月には、出陣式と銘打って、本格的に活動を開始しました。また、ポロシャツやトートバッグを作って販売しました。2月には地元企業とコラボしたいと思い、日本海酒造さんに、記念ボトルを作ってもらい、800本を出荷していただいたと聞いています。そして、学びの機会の一



つとして、郷土史研究会の三浦さんによる、三隅家と三浦家、それから長浜人形にまつわる講演会を行いました。さらに、2023年6月には、メインイベントの「三隅氏発祥800年まつり」を開催しました。加えて各地区でのイベントやまちづくりセンターでの学びの機会を一緒に行いました。フィナーレとしては、歴史クイズラリーやいわみの冬至祭でのフォトコンテスト、そして、2024年1月の記念植樹です。



中：会長 丸山 義尚（まるやま よしなお）さん

三隅地区まちづくり推進協議会で、生涯学習部長を務める。その他防災士や浜田市消防団西部方面隊隊長として地域の安全安心に大いに貢献し地域から頼られる存在。

右：副会長 田城 謙二郎（たしろ けんじろう）さん

三隅郷土史研究会の一員。歴史史料に基づく客観的な話を基本としながらも、実際に見てきたかのように楽しく歴史を語る姿は、地域内で親しまれている。

左：副会長 浜崎 聖二（はまさき せいじ）さん

元、三保地区まちづくり推進委員会会長。三隅郷土史研究会の一員。三隅氏発祥800年の会の火付け役。

「つなげる」ためには 「つながること」が大切

——会のスローガン「未来へつなぐ郷土の誇り」への思いをお聞かせください。

丸山 実質この一年半、800年に集中し、私生活よりも優先しました。年が明け一旦区切りが必要だと思います。しかし、私たちの思いは、未来につなげる継続です。その

ためにも、「歴史を学ぶ機会をつくる」として「行動を起こす人材を育てる」ことに生涯学習として、このたびの活動が途絶えないようリードしていきたいです。

田城 「複数団体や組織が同じ目的で活動する意義」を体験しました。こ



のことは、今後、あらゆる場面において、生かしていけるのではないかと考えます。また、「正しい歴史を子どもたちに伝える機会となった」ことがあります。この度の活動で、歴史を研究されている方々からお話を聞けたことは、これからの学び



にとっても重要なことです。

浜崎 私は、「仕掛ける」ことが大切であると思っています。800年の活動も「仕掛けた」ことに応えた丸山さんに感謝しています。何をやるにしても楽しいことから始め、夢や思いを語り、手段を考えることが大切だと思います。

丸山 浜崎さんの「言い出し」、私の「やり出し」、田城さんの「後押し」がつながり、三隅地区から三保地区そして三隅地域に広がり、市や議会の応援もある中、最近では旭町とのつながりもできました。

「地縁」も大切、これから 「志縁・目的型・広域」も大切に

——「多様な主体と協働のまちづくり」とこの会の活動についてお聞かせください。

田城 この度の活動で、旭や金城の方々と歴史に関する方との交流ができました。やはり、輪が広がるのが多様であり、見聞が広がりが楽しいことにつながり、まちづくりとなるのだと思います。

所（行政）に入っていたとき、事業を進めるアドバイスをもらいました。例えば三つの部制などは、行政からのアドバイスです。少し行政に引く張ってもらい、民間主導で行うことが「主体」であると感じました。

丸山 少子高齢化、人口減少となる今、単体地区や一地域のエリアだけではなく、浜田市全体を意識した中で、同じ課題や同じ目的を持った人との団体や組織やグループで話し合うなど、「広域」「目的型」の連携ができる取組が必要になってくると思います。

——ありがとうございます。皆さんの思いが全市へ広がるよう、協働のまちづくり推進特別委員会として、市への提言につなげていきます。

レポート



総務文教委員会

人口減少社会における取組課題

令和5年11月の委員改選で新たに構成された委員6人による委員会活動が始まりました。

本市における最大の課題は少子高齢化、人口減少であります。その影響による多くの課題の中、公共施設の再配置、学校教育、消防、防災、地域交通など当委員会が担当する所管は幅広く、いずれも重要な分野です。

現在、多くある所管の中から委員会として取組むべき課題テーマを委員間で検討しており、今後決まった課題テーマをもとに現状調査や先進事例の研修、視察などを行った成果を市政に反映できるよう努めるとともに、過去に行った提言などが市政にどのように反映されたかも引き続き調査していくことも重要と考えています。



福祉環境委員会

取組課題を2項目設定

令和5年11月に新たなメンバー7人にて委員会活動が始まりました。

委員会として取組課題の案を決めるにあたり委員一人一人が意見を持ち寄り、活発な議論を展開しています。

その中でも、健康寿命の延伸や地域医療体制について大きく捉えたとともに、環境問題についても重要なテーマとして捉え、委員会として何を取組課題とするかの議論の中で、取組課題のテーマを2項目設けそれぞれワーキンググループ形式で調査研究し情報共有を図るといった提案がなされました。

新たな委員会活動を模索していく動きも起きており、今後の活動が楽しみな展開となっています。

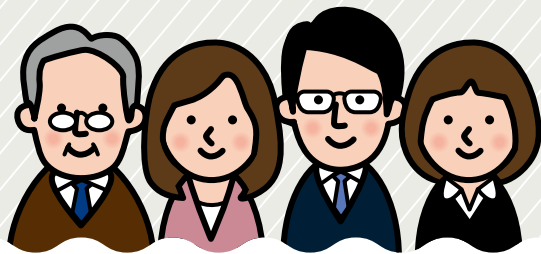


産業建設委員会

安芸高田市の神楽関連施設と道の駅を視察

浜田市で取り沙汰されている「神楽関係施設」と「道の駅」について参考とするため、所管事務調査として広島県安芸高田市の2施設を視察しました。「神楽門前湯治村」は、神楽、神楽文化、地元産品を含めた物販、宿泊、そして温泉を集客の核とした複合施設として設置されたが、老朽化対策と温泉施設の大規模改修が必要な状況で、施設運営者は早期対応を市に求めているようでした。「道の駅 三矢の里あきたかた」は、どこを見ても新鮮に感じ、フードパークの産直市や観光案内には工夫がなされていました。指定管理による運営から民間による自主運営に移行するには、困難かもしれませんが他種事業との複合化など一層の工夫が必要と感じました。





委員会活動

協働のまちづくり推進特別委員会

地区まちづくり推進委員会と意見交換

当委員会は提言書提出に向けての最終段階として、各地域の地区まちづくり推進委員会の代表の皆様と意見交換（主にヒアリング）を行いました。意見聴取の中身は、まちづくり推進計画策定時や運営に際しての悩み、困り事、まちづくりコーディネーターやまちづくりセンター、市との関わり、議会（この特別委員会）や市に求めたい支援や期待するものなどで、5地域を5日間かけて訪問しました。「まちづくり総合交付金の使い勝手を良くしてほしい」「世代交代が難しい」「防災行政無線をまちづくりに活用できないか」など、多くのご意見を伺うことができました。



議会広報広聴委員会

ミライへつながる議会

令和5年11月から新たな構成になりました。これまで取組んできたことを引き継ぎ、【広聴】市民の声を聴き、政策に反映させるための情報収集および【広報】収集した情報をどのように扱ったかを知らせるための情報提供について、市民に分かりやすく伝えていきます。特に若者（小中高大）との意見交換の場づくり、市議会見学の受け入れの周知など、議会による主権者教育を推進していきたいと考えています。若者の意見を聴きながら、議会をより身近に感じていただける方法を検討していきます。また物価高騰の中、コスト・パフォーマンスの良い広報についても調査研究していきたいと考えています。



議会改革推進特別委員会

政務活動費の活用促進

議員の調査研究のための必要経費として、年額10万円が各議員に支給されています。政務活動費というものです。先般、浜田市特別職報酬等審議会でその妥当額などについて議論され、答申が出されました。現在の10万円を24万円に引き上げるというものです。これらの使途の説明責任は当然求められますので、領収書は1円から添付して報告します。しかし、市内行政施設などへのヒアリングに伴う移動費は、出発前後でガソリンを満タンにし給油前後の差額を提示して実費を報告しなければならないという手間から、活用しにくい仕組みになっていました。この精算方法について改定を検討しています。日報制（行き先や目的を明記）にして、職員等の旅費に関する規定を用いて1割当たり23円で精算するというやり方です。いずれにしても、議員に与えられた大事な活動費。しっかり活用して、政策立案の充実などに役立てていきたいと思っています。



議長からのメッセージ

こんにちは、議長の笹田です。

今回は議長の役割についてお話ししたいと思います。

議長の役割について、地方自治法第104条に「普通地方公共団体の議会の議長は、議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表する」とあります。

秩序の保持（秩序維持権）とは、会議中に議員が秩序を乱したり、品位を傷つけたりしないように、議会運営を円滑に行うことです。議事を整理（議事整理権）とは、議事日程の決定、開議の宣告、議題の宣告、議題の審議の進行管理、散会、延会の宣告などを行うことです。事務を統理（事務統理権）とは、議会の事務を所掌し、これをおさめることです。議会を代表（議会代表権）とは、議会を代表し、さまざまな行事・会議に出席することです。この4点については地方自治法に定められた役割ですが、その他に議会改革や議会力強化の推進も議長の役割だと考えています。

議会改革の本質は体質・風土を変えることです。もちろん議会改革や議会力強化は1人でできることではありません。21人の議員でしっかりスクラムを組み、必要とされ信頼される議会になるように取組んでまいります。



3月 定例会議の 予定

- ・2月26日(月) 開会
- ・2月27日(火)～3月1日(金) 一般質問
ぜひ傍聴にお越しください。

※日程を変更する場合があります。

次号 (Vol.73) は
5月1日発行予定です。

はまだ議会だより miniも 見てね



1月1日の26号はご覧いただけましたでしょうか。
miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。

次号は3月1日に発行予定です。

表紙について

こども美術館で研修を受けた先生が、ブータンで子どもたちに指導して共同制作された作品です。開催中のアンデパンダン展で展示されています。会期は3月3日(日)まで。ぜひお出掛けください。



あとがき

昨年は新型コロナウイルスが第5類に移行したことにより、地域活動が活発に行われ、少しずつ皆さんに笑顔が戻ってきたような感じがします。しかしながらインフルエンザの蔓延や物価高騰等が市民生活を脅かしています。市議会としても引き続き安心のまちづくりに取組んでまいります。

さて、令和5年11月に委員構成が変わり、今号は新しい議会広報広聴委員会で作成に当たりました。引き続き当委員会は市民の皆さんに議会をより身近に感じていただけるように努力していきます。

(記 川神 裕司)

編集委員

委員長		副委員長		委員	
村武	まゆみ	村木	勝也	肥後	孝俊
大谷	孝学	三浦	大紀	沖田	真治
川上	幾雄	上野	幾雄	西田	清久
川神	裕司				

★この議会だよりは一部当たり43・67円(税込)でできています。